

アニマル&モンスター かわいい・怖い・ちょっと変!

前期 2026年6月23日(火)~7月20日(月祝) 後期 2026年7月25日(土)~8月23日(日)

※ 期間中、展示替えをおこないます。塗りつぶし部分が各作品の展示期間となります。
 ※ リストの番号は展覧会ブックレットの番号と一致しています。作品の展示順とは一致しません。予めご了承下さい。
 ※ 展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

	絵師名	作品名	所蔵	年代	前 期	後 期
1	葛飾北斎	狢		天保4年(1833)		
2	歌川国芳	御奥の弾初		嘉永2~5年(1849~52)		
3	楊洲周延	時代かがみ 文化之頃		明治29年(1896)9月		
4	歌川国芳	東都名所 両国柳ばし		天保3~4年(1832~33)頃		
5	小原古邨	踊る狐	個人蔵	明治38~45年(1905~12)頃		
6	歌川広重	月に兎		嘉永2~5年(1849~52)頃		
7	歌川国貞(三代豊国)	牛に引かれて善光寺参り				
8	作者不詳	当時流好諸喰商人尽				
9	富永年親・小林年参	錦絵修身談巻一 (十四) 猿恩を酬ふ	個人蔵	明治16年(1883)		
10	富永年親・小林年参	錦絵修身談巻一 (三) 熊の慈愛を視て獵人業を改む	個人蔵	明治16年(1883)		
11	菊川英山	虎図		文化5~6年(1808~09)頃		
12	歌川芳虎	神功皇后三韓征伐之御時韓兵計飢虎追放官軍猛禽投撃亦生捕帝覽備		安政3(1856)年2月		
13	歌川国芳	加藤清正と虎 七福神の相撲				
14	落合芳幾	猛虎之写真		万延元年(1860)7月		
15	歌川芳豊	中天竺馬爾加国出生新渡舶来大象之図		文久3年(1863)2月		
16	河鍋暁斎	天竺渡来大評判 象の戯遊		文久3年(1863)4月		
17	楊洲周延	世界第一チャリネ大曲馬ノ図		明治19年(1886)9月		
18	服部雪斎	ハリネズミ		明治8年(1875)4月		
19	二代歌川国輝	小樽ゼニバコ 缸魚の奇異	個人蔵	明治4年(1871)		
20	歌川国貞(三代豊国)	時世姿五十三対 日本橋の朝景色		弘化4~嘉永3年(1847~50)		
21	林萬次郎	教育訓画 動物第廿六 いつかく		明治19年(1886)1月		
22	月岡芳年	郵便報知新聞 第八百三十二号		明治8年(1875)		
23	服部雪斎	サンセウウヲ		明治5年(1872)3月		
24	歌川国貞	紅毛渡り名鳥		文久3年(1863)		
25	幸野樸嶺	樸嶺花鳥画譜 木犀花 鷗鶩		明治16年(1883)12月		
26	小原古邨	木蓮に九官鳥	個人蔵	明治38~45年(1905~12)頃		
27	小原古邨	蓮に雀		明治38~45年(1905~12)頃		
28	月岡芳年	しん板むしづくし		文久元年(1861)12月		
29	鈴木春信	春の縁先		明和5~7年(1768~70)頃		
30	磯田湖龍斎	竹林猫雀図		安永(1772~81)頃		
31	喜多川歌麿	針仕事		寛政6~7年(1794~95)頃		
32	歌川国貞	当世俳優最良競 三代目市川門之助 猫抱く女		文政中期(1821~26)頃		
33	歌川国貞	風流調子婦絵 かん		文政前期(1818~23)頃		
34	歌川国安	通俗水滸伝豪傑百八人之吉人 扇屋内花ぞの		文政末~天保初期(1826~32)頃		
35	歌川国芳	山海めてたいづゑ はやくきめたい		嘉永5年(1852)8月		
36	歌川国芳	山海愛度図会 えりをぬきたい		嘉永5年(1852)12月		
37	歌川国芳	初雪の戯遊		弘化4~嘉永3年(1847~50)		
38	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書		嘉永元年(1848)頃		
39	歌川広重	そりゃ猫といふ間に九人まへになり				
40	山田抱玉	狂七十二候立春 狂七十二候雨水				
41	月岡芳年	古今比売鑑 薄雲	個人蔵	明治8~9年(1875~76)頃		
42	月岡芳年	見立多以尽 とりけしたい		明治11年(1878)1月		
43	月岡芳年	東京自慢十二ヶ月 六月 入谷の朝顔 新ばし 福助		明治13年(1880)3月		
44	月岡芳年	新柳二十四時 午前九時		明治13年(1880)頃		
45	月岡芳年	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女之風俗		明治21年(1888)3月		
46	豊原国周	見立屋夜廿四時之内 午後八時		明治24(1891)年1月		
47	水野年方	三十六佳撰 湯あかり 寛政頃婦人		明治25年(1892)		
48	楊洲周延	真美人 七 戯猫		明治30年(1897)9月		
49	小林清親	カンヴァスに猫		明治13年(1880)		
50	梅堂小国政	猫		明治24~34年(1891~1901)頃		
51	歌川国貞(三代豊国)	東駅いろは日記		文久元年(1861)7月		
52	歌川国芳	日本駄右工門猫之古事		弘化4年(1847)		
53	歌川国芳	五十三駅 岡崎		弘化4~嘉永5年(1847~52)		
54	楊洲周延	東錦屋夜競 佐賀の怪猫		明治19年(1886)10月		
55	歌川芳艶	大江山酒吞退治		安政5年(1858)10月		
56	歌川芳艶	丹波国山中は数千年越し蜘蛛あまたの人なやますと聞源頼光四天王お召つれ 遂にたいししたまふ図		弘化4~嘉永元年(1847~48)		
57	歌川国芳	木曾街道六十九次之内 京都 鶴 大尾		嘉永5年(1852)10月		
58	歌川国芳	三国妖狐図会 蘇姐己駅堂に被魅		嘉永2~3年(1849~50)		
59	二代歌川国久	三浦上総両介那須野九尾狐討取		安政5年(1858)9月		
60	葛飾派	百々眼鬼				
61	歌川国芳	東海道五十三対 桑名 船のり徳蔵の伝		天保14~弘化3年(1843~46)		
62	歌川国芳	源頼家公鎌倉小壺ノ海遊覧朝夷義秀雌雄鱈を捕ふ図		弘化元~3年(1844~46)		
63	落合芳幾	東京日々新聞 六百九十七号		明治7年(1874)5月		
64	歌川国芳	源氏雲浮世画合 玉葛 玉取蟹		天保14~弘化3年(1843~46)		
65	月岡芳年	東京開化狂画名所 日本橋魚市場 大蛸の乱暴 東京開化狂画名所 神田		明治14(1881)年1月		
66	歌川芳艶	破奇術頼光袴垂為擲		安政5年(1858)4月		

67	歌川芳員	東海道五十三次内 府中 まりこへーり十六丁		嘉永2~5年(1849~52)	
68	一寸子花里	商内道具集之内 桐油御合羽品々		天保14~弘化3年(1843~46)	
69	歌川広重	釣り人と河童			
70	豊原国周	東京花国周漫画 四 中村芝翫 民谷伊右衛門		明治5年(1872)9月	
71	歌川国芳	通俗水滸伝豪傑百八人之巻人 混世魔王樊瑞		文政10年(1827)頃	
72	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図		天保13~14年(1842~43)	
73	葛飾派	須佐之男命厄神退治の図			
74	月岡芳年	於吹島之館直之古狸退治図		慶応2年(1866)10月	
75	月岡芳年	和漢百物語 頓欲ノ婆々		慶応元年(1865)9月	
76	小林幾英	しん板かけゑづくし		明治14年(1881)5月	
77	歌川芳員	道外づくし 猫の世界		安政6年(1859)8月	
78	歌川芳虎	新板ねこの手ならひ師匠			
79	歌川芳藤	しん板猫のあきんどづくし		慶応4年(1868)8月	
80	歌川芳藤	新板猫のぜんあく			
81	歌川芳藤	しん板猫のたわむれ踊のをさらみ			
82	歌川芳藤	しん板猫のふきや			
83	四代歌川国政	しん板猫のそばや		明治6年(1873)10月	
84	四代歌川国政	しん板猫の手ならい師匠			
85	四代歌川国政	当世商□づくし		明治8年(1875)5月	
86	二代歌川国明	しんはん猫つくし		明治16年(1883)2月	
87	歌川国利	ねこのうなぎや		明治16年(1883)2月	
88	作者不詳	新板猫湯屋			
89	作者不詳	しんばん猫の国かい			
90	作者不詳	鼠の相撲		安永9年(1780)	
91	四代歌川国政	しん板ねづみのたわむれ		明治15年(1882)11月	
92	児玉弥吉	ねずみのおもちや絵		明治16年(1883)	
93	梅堂小国政	新板鼠よめ入		明治17年(1884)2月	
94	四代歌川国政	兎の草履打		明治5~6年(1872~73)頃	
95	歌川芳藤	流行兎けん		明治6年(1873)1月	
96	歌川芳藤	兎の相撲		明治6年(1873)3月	
97	河鍋暁斎	狸の戯 どふけししまい 狸の戯 どふけ餅つき		元治元年(1864)4月	
98	歌川芳員	東海道五十三次内 神奈川 ほどがやへーり余	個人蔵	嘉永6年(1853)9月	
99	歌川国芳	道外十二支 未		安政2年(1855)12月	
100	歌川芳艶	獣すずはきのず			
101	月岡芳年	和漢獣物大合戦之図		万延元年(1860)10月	
102	歌川芳藤	本朝伯来戯道具くらべ		明治6年(1873)6月	
103	落合芳幾	諸鳥芸づくし		安政6年(1859)9月	
104	歌川芳藤	廓通色々青楼全盛		慶応3年(1867)6月	
105	三代歌川広重	円窓雑画			
106	歌川貞秀	蛸踊り		天保10年(1839)	
107	歌川広景	青物魚軍勢大合戦之図		安政6年(1859)10月	
108	作者不詳	地震のすちやらか		安政2年(1855)頃	
109	作者不詳	大津ふれぶし		安政2年(1855)頃	
110	作者不詳	大都会無事		安政2年(1855)頃	
111	作者不詳	世直し鯨の情		安政2年(1855)頃	
112	歌川国芳	ほふづきづくし 八そふとび		天保13年(1842) 頃	
113	歌川国芳	ほうづき尽 すまふ ほうづきつくし ゆうれい		天保13年(1842) 頃	
114	河鍋暁斎	家保千家の戯 天王祭 ろくろ首		元治元年(1864)5月	
115	歌川芳虎	家内安全ヲ守十二支之図		安政5年(1858)6月	
116	歌川広重	童戯武者尽 源頼政 童戯武者尽 熊谷直実		嘉永7年 (1854) 8月	
117	歌川国芳	欲といふ獣		弘化4~嘉永元年(1847~48)	
118	歌川芳員	東海道五十三次内 大磯 をだはらへ四り		嘉永6年(1853)9月	
119	歌川国芳	蝦蟇手本ひやうきんぐら 七段目 八段目		弘化3~嘉永元年(1846~48)	
120	歌川芳虎	越中立山の地獄谷に肉芝道人蛙合戦の奇をあらはし良門伊賀寿の両雄に妖術を授く		嘉永5年(1852)4月	
121	歌川芳員	將軍太郎良門臺ノ術ヲ以て相馬の内裏を顕し亡父の栄花を見せ父のあだをほふぜんと士卒をはけまし軍評定の図		嘉永5年(1852)3月	
122	葛飾北斎	『北斎漫画』三編		文化12年(1815)	
123	一橋斎艶長	新板魚づくし			
124	作者不詳	海出人之図			
125	落合芳幾	見立似たかきん魚		文久3年(1863)6月	
126	落合芳幾	見たて似たかきん魚		文久3年(1863)6月	
127	梅素亭玄魚	白澤之図		安政5年(1858)8月	
128	歌川国芳	手向杜若四季咲		嘉永元年(1848)	
129	作者不詳	神いさめ 道化二十五座			
130	作者不詳	電光の図説 豊年魚		慶応2年(1866)	
131	歌川芳藤	髪切の奇談		明治元年(1868)閏4月	
132	歌川国芳	百品噺 鬼瓦のおつこちばなし		嘉永2~5年(1849~52)	
133	作者不詳	進雄尊悪神退治		慶応4年(1868)頃	
134	玉園	画本西遊記 百鬼夜行ノ図			
135	歌川芳虎	諸病諸薬の戦ひの図		弘化4~嘉永3年(1847~50)	
136	落合芳幾	マケロマケヌ 売買大合戦		文久元年(1861)正月	
137	作者不詳	浮世はゆめだゆめだ			
138	作者不詳	諸色大合戦			
139	落合芳幾	善悪思の案内		万延元年(1860)12月	
140	歌川芳虎	風流さや絵		嘉永2年(1849)	